

| | | | |
|---|---|--------------------|---------------------------|
| 令和2年度 | | | |
| 講習の区分 | <必修領域講習>全ての受講者が受講する領域 | | 講習時間数 6時間 |
| 講習の名称 | 【必修】教育の最新事情および子どもの変化に対応した取り組み | | 講習形態 講義 |
| 開設者 | 長崎大学 | | 定員 120名 |
| 開設日/時間 | 令和2年10月24日(土) / 8:55~16:30 | 会場 | WEB配信が受信できる場所。職場もしくは自宅など。 |
| 履修認定対象職種 | 教諭、養護教諭、栄養教諭 | 主な受講対象者 | 全教員 |
| 担当教員(講習担当者) / Eメールアドレス / TEL 前原 由喜夫 (人文社会科学域) / kyoumen@m1.nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2872 | | | |
| 担当教員(分担担当者等) 石川 衣紀 (人文社会科学域) | | | |
| 講習のねらい / 講習方法 / 講習到達目標 講習のねらい： 国内外の学校教育に関する近年の動向を知るとともに、自らの教育実践経験を省察し、それらを今後の教育活動にどのように活かしてゆかかを考察する。また、子どもの発達に関する心理学や脳科学の最新の知見を学び、子どもの発達段階や生活環境の特徴に合わせた適切な指導の在り方を考察する。 講習方法： 各担当講師が3時間ずつ講義し、担当講師の分野別に各40分間の筆記試験を行う。講義中に適宜、講義内容に関する課題を行ったり、受講者同士のディスカッションを行ったりすることもある。プリント資料を配布することもある。 講習到達目標： 1. 国内外の学校教育をめぐる近年の状況の変化について理解する。 2. 自らの教育実践経験を振り返る。 3. 子どもの心理発達の特徴について理解する。 4. 子どもの心理的特徴を考慮した指導や支援の具体的方法を考える。 | | | |
| 講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)： ①国内外の教育の動向と教職についての省察(日本と世界における教育の現在、専門職たる教員の役割)、および、②子どもの心理と発達の理解(子どもの発達に関する心理学などの最新の知見、子どもの発達段階や生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方)について講義する。 講習計画・内容： | | | |
| | 内容等 | 時間 | 担当教員 |
| | オリエンテーション | 8:55~9:00 (5分) | 石川 衣紀 |
| | 講義1【国内外の教育の動向と教職についての省察】(休憩20分を含む) | 9:00~11:40 (160分) | 石川 衣紀 |
| | 筆記試験1 | 11:40~12:20 (40分) | 石川 衣紀 |
| | 昼休憩 | 12:20~13:10 (50分) | |
| | 講義2【子どもの心理と発達の理解】(休憩20分を含む) | 13:10~15:50 (160分) | 前原 由喜夫 |
| | 筆記試験2 | 15:50~16:30 (40分) | 前原 由喜夫 |
| | キーワード： (教育の最新事情) (使命感) (心理発達) (教授と学習) (社会性) | | |
| 成績評価の方法 | 成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取り組み等から総合的に判断します。 | | |
| 成績評価の基準 | 成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。 | | |
| 履修認定の方法 | 成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。 | | |
| 教科書・教材・参考書 | 指定図書はありません。 | | |
| 各自で準備するもの | なし | | |
| 受講上の注意 | 1. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 2. 遅刻は原則として認めません。 | | |